

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
教志	リーダー実践	2	1・2	コース生選択

到達目標	教員に必要な資質「自主性と計画性」を培い、実習・体験から教員の仕事の側面を知る。 教員を志望する意欲を高め、教員になるために大学へ進学するという明確な目標を持つ。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
適 宜	・オリエンテーション ・実習は全て授業時間外に設定します。 ・実習先、実習時期、期間などを自分で探し、自分で申し込みます。 ↓ ・実習先の担当者を確認し、正式な受け入れ許可を得ましょう。 ↓ ・適宜実習を行い、実習先の担当者に実習を行った時間を記入してもらい、学校に実習ノートを提出しましょう。 ※実習ノート未提出の場合、実習を行ったことが確認できません。必ず提出しましょう。	・<u>実習先を自分で見つけて来るところからが、実習です。</u> ・学校の所定の様式で、実習先に申請が必要です。 ・土日や長期休業中などに集中的に実習する場合があります。従って、1学期末までは、実習がない場合もあります。 ・<u>学校から教員の付添や、実習先の斡旋はありません。</u>自分の力でやれる範囲でやりましょう。 ・実習期間の<u>途中で辞退することはできません。</u>最後までやりきりましょう。	・1単位を取得するには、1年間で35単位時間の実習をします。(2単位なら、70単位時間必要。) ・実習ノートの項目は、実習内容に応じて、実習先の担当者と相談し、設定します。 ・ボランティア活動なども事前に申請すれば、実習先として認められます。事後申告は無効です。気をつけましょう。 ・<u>実習中に問題が起きた時は、直ちに学校に報告しましょう。</u>
学 年 末	・「実習を終えて」プレゼンテーション ・実習ノートの提出	・実習で得たもの、体験したことをまとめて発表しましょう。 ・実習ノートは必ず提出しましょう。	学年末までに、必要単位時間の実習を終えましょう。 <u>1時間の不足でも単位認定不可です。</u>

評価方法と 評価のポイント	実習時間の記録、実習ノートなどの提出物 学年末に実施する、プレゼンテーション、実習体験先からの評価
--------------------------	--

教科からのアドバイス

自ら率先して実習・体験することによってのみ、成立する授業です。本校以外の場所（保育所、幼稚園、小学校、中学校、地域のクラブ、ボランティア活動など）で、自分から積極的に働きかけ、実習先を見つけ、申し込み、定められた期間で最後まで活動できる人は選択してください。（この科目は必修ではありません。）